キャラクター名	プレイヤー名
シュゼット・ウイエ	

ポジション	オートマトン	**享年**	8
メインクラス	タナトス	**暗示**	幸福
サブクラス	タナトス	**寵愛点**	35

初期配置	煉獄
最大行動値	8

能力値	クラス	修正	合計
武装	2	1	3
変異	0	0	0
改造	2	3	5

記憶のカケラ	内容
【庭師】	庭師をしているアンデッドがいた。優しくて、穏やかで、料理をするのが好きな人だった。
【手紙】	内緒ではじめた手紙のやりとり。隠れて渡し合う手紙にどきどきして、返ってくる返事にわくわくして……。手紙の数が増えるたび、それは君の日常をよりあざやかにした。
【孤児院】	養父の仕事が変わることになった。孤児院の院長として住み込みで働くらしい。それに伴い、君たちも彼の職場に住居を移すことになった。でもなぜ彼は突然孤児院の院長になったのだろう。いままでそういう素振りもなかったのに。
【歓迎会】	初めてこの孤児院に来たとき、ささやかながら歓迎会がおこなわれた。新しく院長に就任した養父と一緒に越してきた君たちのために、この談話室で小さなパーティーが開かれたのだ。多くの孤児やスタッフたちに囲まれる中、ハルバードやラピエルに初めて会ったのもこの時だった。
【中庭での贈り物】	あの晩、中庭で会った彼から贈られたのはこの指輪だった。「これをキミをあげたいんだ。ねぇ、キミのことはぼくが守から。ずっと笑って居てよ」そう言ってラピエルは笑っていたが、彼はどんな意図でこの指輪をくれたのだろうか。「ぼくはキミが大切なんだ。だからそれだけ覚えててほしいな」彼はそう言っていたが、彼はどう思っていたのだろうか。
【届かぬ声】	具合の悪い妹のために、君は外に出ることにした。「外は危ない」と言われていたけれども、薬も手に入らない中、薬草でもあればと思ったのだ。けれども君がむかえた結末は、そんな優しいものではなかった。「君はこっちに来ちゃいけない、冷たい世界になんか来ちゃだめだ」そう言って手を握るのは庭師だ。涙を流し必死に呼びかけている。君はその声に応えようとするが、君の声は届かぬまま世界は暗転した。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
リュディヴィーヌ	保護	3	①②③④⑤	
マドロン	執着	3	①②③④⑤	
ラピエル	期待	1	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		1	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		無茶		オート	☆	自身	コストとして、任意の基本パーツを1つ損傷する。行動・攻撃・切断判定の振り直しが可能。
ポジション		煉獄の檻		オート	なし	自身	バトルパートでターン終了時「煉獄」にいるなら、行動値がマイナスに達していても、次ターン開始時の行動値回復において、最大行動値まで回復しても良い。
メインクラス		無限解体		ダメージ	0	自身	自身がダメージを与えた際、次カウントまで、全ての所有する攻撃マニューバを同対象に限り「ダメージ」タイミングで扱う。
メインクラス		死神		オート	なし	自身	白兵攻撃マニューバの判定時+1
サブクラス		殺劇		オート	なし	自身	同カウント内に他の姉妹が攻撃対象とした敵に攻撃判定をする際、自身の攻撃判定の出目+1、ダメージ+1してもよい。
メインクラス		冥王		オート	なし	自身	レギオンの「移動妨害」を常に無効化してよい。さらに、レギオンがあなたに対しておこなった攻撃判定は判定値7以上でなければダメージを与えない。
サブクラス				オート			
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
頭		ボルトヘッド		ジャッジ	1	自身	支援2
頭		壊れた部品		オート	なし	自身	たからもの
頭				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
腕		名刀		アクション	2	0	白兵攻撃２＋切断、攻撃判定の出目＋１
腕		有刺鉄線		ダメージ	0	自身	ヒット後、白兵＋１
腕		日本刀		アクション	2	0	白兵攻撃１＋切断
腕		アサシンブレード		ラピッド	2	0	白兵攻撃２＋連撃１
腕		肉切り包丁		アクション	2	0	白兵攻撃２
腕		ジェットノズル		ダメージ	-	自身	ヒット後、基本パーツ損傷＋白兵＋1
腕		エナジーチューブ		オート	0	自身	2
腕		贈られた指輪		オート	なし	自身	たからもの
腕				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			